

1. 件名：「大間原子力発電所の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(86)」

2. 日時：令和2年8月5日（水）13時00分～14時25分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、海田安全審査専門職、菅谷技術研究調査官、宮脇技術研究調査官、磯田係員

電源開発株式会社：原子力事業本部 原子力技術部 部長 他10名
(テレビ会議システムによる出席)

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・大間原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答 その11）
- ・大間原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答 その11）
（補足説明資料）
- ・大間原子力発電所 審査会合における指摘事項について（地震・津波関係）
- ・机上配付資料 大間原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答 その11）（dF断層系に関わるボーリングコアの地質柱状図，コア写真及びBHTV画像）【抜粋版】

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	また初めからあります。
0:00:08	じゃあ時間になりましたので、原子力発電所敷地の地質地質構造、コメント回答その 11、
0:00:17	人員に関して、役員異動したいと思います。
0:00:21	まずはじゃ等、
0:00:23	資料の確認のほうからお願いいたします。
0:00:28	はい。
0:00:29	はい。
0:00:31	電源開発の件です。よろしくお願いいたします。
0:00:34	本日は今お話がありましたように視機能地質地質構造等のコメント回答その 11 について、前回 7 月 1 日に続きまして 2 回目なきゃリングとなります。
0:00:48	資料の確認ですが、まずお手元に、
0:00:52	ございます。ええとコメント回答その 11 名の本編ですね。
0:00:57	それが一番です。
0:01:01	それと、その補足説明資料、
0:01:05	これが
0:01:06	夏目です。
0:01:08	それからもう一つにdf断層系に関わるボーリングコアの地質性状コア写真及びボアホールテレビ画像でございますが、これ抜粋版となっております前回 7 月 1 日のヒアリングからの変更箇所ですね。
0:01:27	それを抜き出したものになっております資料は今日のこちらの 3 冊となります。
0:01:35	それとお手元にですねいつもと同じように、
0:01:39	審査会合における指摘事項について、地震津波関係等ございまして、
0:01:45	本日の御説明に関連するところは、ページ数で言いますと、
0:01:51	17 分の 16 ページですね、後ろから 2 枚目になりますが、
0:01:56	その一番上の段の
0:02:00	地質は敷地の地質関係のF-2-140。
0:02:05	それから 140 基ですけどもその二つが回答になります。
0:02:13	それでは時間もありませんので早速説明に入らせていただきます。
0:02:19	説明はですね敷地の地質地質構造担当しております課長の
0:02:25	クマザキよりですね 30 分程度で御説明いたします。
0:02:29	よろしくお願いいたします。
0:02:33	電源開発のクマザキです。本日はよろしくお願いいたします。

0:02:38	本件資料をめぐっていただきましてローマ数字の1ページになります。指摘事項タニますが、
0:02:47	ここは本日コメント回答する内容となりますけれども、安全選定委員会の7月11日のヒアリングで示した指摘事項と変更ございませんので、内容については、ただ一応作りますとS2-140についてはPFS断層と上載地層のホルストとも関係についてのもの。
0:03:07	特にせっかく職で進める予定する箇所のことについて断層底部以外でも見られますのでその性状についたりする判断理由について記載する。
0:03:20	その下部41につきましては、du断層系の西側海域の連続性Aに関するものでございまして、西側海域のどんな示しておりますがその鍵層の認定退避の確認状況、あと職域に分布する陸域の西ばっか域に分布する事務断層系と、
0:03:40	陸域のDFへ営利FC断層であると判断した根拠をこれを整理して説明すること。
0:03:47	いうことで、おります。
0:03:50	ローマ数字、2ページに行きまして、コメント回答の経費示しておりますが、一番
0:03:59	ここもほぼ氷ありませんので家割愛します。いろんて3ページ、説明更新になりますが、概ね変更ありませんが、コメントS2-141縦断図についてですが、
0:04:17	なお書きを加えております会期の理由断層経営について取り扱いのことということで永里超えております。以下の理由により超えて断層面を個別に一括して取り扱うこととするとして、
0:04:31	2ポツで示しておりますが、先にFEM断層系は重要な安全機能を有する鑄鉄のを基礎地盤に分布するか4条対象であると家できるいう断層系は陸域のゲーム断層系と同じ断層健康メタルこれら活動性評価ありきの利益で単相代表断層とするため、
0:04:47	それから昨日dF断層系の断層個別に評価する必要がないことということで、以下として扱うということで、変更しております。
0:04:57	4ページローマ数字4ページに掘って説明講師記しておりますが、ここについてはほとんど変更ございません。
0:05:07	5ページが目次になりまして、一生今後スケジュール断層と同様になりますが、ほとんど変更ございませんので説明は割愛したいと思います、一番の海域の断層系の表示でとか、断層の一覧表をについて変更しておりますのでその部分だけ御説明したいと思います。
0:05:26	ページでいきますと1-27ページをご覧ください。

0:05:35	システムのコアの水平断面図を総称しておりますが、先ほど
0:05:42	エコスでちょっと説明しましたが、海丘dF断層系については以前右上の図の右上ですね、イズにフロー造形として見ていいと思うんですがこの海域のdF断層系として系として表示するということで直しております海域の断層を生み断層の断層面については、
0:05:59	まず一括評価するということで、断層面は削除しております。
0:06:05	あと、人数細かい修正ございますが、あと、同じような図面が後に出てきますが、同様に修正しております。
0:06:15	次に1-33ページをご覧ください。断層の概要としまして断層一覧表を載せております。駅の33ページの人本文がなる断層系になっておりまして、硫断層系については、先ほど柿木の粒度抜けかけてということで、
0:06:32	陸域のものとか機能を分けて期待し直しております。これに合わせてキャプションですね、③のなる断層系についても陸域と書き分けて表示してございます。
0:06:45	あとお見かけの最大変位量のところに*7を追加して表示しておりますが、下記のdF断層系については南側落下あ正断層センス卓越するということで、鉛直変位量を示しております。
0:07:00	これにあわせまして補足説明資料なんですけれども、3の3ページと3-5ページまで断層性状一覧表として、データを示しておりますこれについても、会期のdF断層系を区別するということで3-5ページにその部分を
0:07:22	分けて表示してございます。
0:07:25	この5ページの右側の一番右側に履行を欄がございまして、理由の名力M4というとな形で示しておりますが、
0:07:35	時A海域の十分系の断層建築の断層につきましては、先ほどご説明しましたけれども、個別の断層名を超えて説明を使うんですが、識別する必要がある場合に限りましては、
0:07:50	このようにおりF-M1 からDF-m4 断層として記載するということで整理しております。
0:07:58	本件に戻りまして、2章の主要断層については変更ございませんので説明は割愛させていただきます。3章の重要な断層系についてですが、2-38ページをご覧ください。
0:08:15	2-38ページを調査評価の流れということで、PLOHS示してございます。先ほどの会期のTF断層系へについてここで記載しておりませんでしたので、風呂の初めの部分ですとか、等によりの一生の二重四角の部分です。
0:08:32	その部分に海域のdF断層系という言葉を突いて生かして表示しております。
0:08:40	局長のほうも同じようにしてございます。

0:08:47	次に 2-40 ページですが、
0:08:50	硫断層系の分布及び調査位置ということで、
0:08:54	下のページの下側にイソダ寺層一覧表 5 回
0:08:59	修正に合わせまして、同じように海域の断層を決起フランス系をおあけて処理してございました。
0:09:07	入団そこについては最大破碎幅がいろいろ変化するんですが、最大最後のところにアスタリスクのついております。追加しておりまして、その火災の方の説明を右下のところに書いております。
0:09:24	これシルトバンちゅ断層破碎部の違いの注釈ということで断層面の市立バン町にある場合は、断層面は密着しては例えば認められないことは、破碎部は薄い傾向酸性凝灰岩がチェックするんでは初会合厚い傾向があるので、
0:09:43	これについては補足説明資料を
0:09:46	注釈をつけて説明しております。
0:09:51	例を示しますと 3-4 の補足説明資料の 3-45 ページをご覧ください。
0:10:02	留学会計のdF断層系の断層の確認でということでもとめて表示しておりますがその 45 ページはS-①孔の断層右側公差シナ海参画で示してございますが、
0:10:15	ここに断層がございまして、ちょっとその 2 ポツ目破碎幅 70 センチ結構大きな行っておりますが、その部分について * 真ん中明日下側真ん中ほどにかつ大陸がつけておりますが、
0:10:30	閃緑岩ところ資料館接するんでは表させて例えば厚い傾向があるという事で注釈をつけております。
0:10:37	以下同じように、断層の確認データについては発生のに関する注釈をつけております。
0:10:47	本編戻りまして、
0:10:50	2 の 41 ページ。
0:10:53	栄光から微粒断層系の分布性状をどこに陸域の分布性状ということで、2 の 41 から 47 ページ、説明も答えますが、この陸域については特に前回費用と
0:11:09	今回文言の修正を除きまして出席はございませんので、今回は割愛させていただきます。
0:11:15	次の 2-49 ページをご覧ください。
0:11:20	こっから会期のdF断層系の検討ということで、
0:11:26	また検討方針を 49 ページ 50 ページに記載しております。49 ページのキャプションところですが、

0:11:35	西側海域、その左側の太線で囲った部分がありますけれども、ここに分布するとそのうち陸域の理由断層系の延長上にある断層については、その走向傾斜変位センスの全体的傾向が陸域のdF断層系と同じであることから、
0:11:52	理由断層系に分類され、海域のdF断層系として一括して取り扱いますと、
0:11:58	いう検討方針、この扱う考え方について、次の2-50ページにその手順を示しております。片括弧1この方お子様ありまして、まず陸域測った(1)の陸域の理由のときの分布性状の特徴としまして、
0:12:16	の見かけの鉛直変位量が大きいと連続性のよいリフレッシュに断層を代表としまして、分布性状の特徴を1変遷するに傾斜方向3審での連続性を整理します。
0:12:29	次にまた学校に海域のdF断層系の分布性状のところとしまして、も陸域と同じように、①から③aの項目を整理しまして、例えば広域の陸域のdF断層系の分布性状の特徴と比較することにより登用の特徴を有することを確認します。
0:12:47	これら二つを確認した後で上で経営会議のdF断層系としている断層系への区別ということで、敷地の言葉こそとしてあった敷地の北側の陸域には、dF断層系がその西側海域にはsF断層系とか機器の流動が復帰が分布してるんですが、
0:13:05	大気の自由断層系はsF断層系と変位センスが異なることなるから、別の断層系としてくれてされるとですねすところこういった検討方針になります。
0:13:17	で、
0:13:19	2-51ページをご覧ください。
0:13:22	2の50ページは、そちらの方(1)陸域のdF断層系の分布性状の特徴ということで、
0:13:29	下の表に示しています検討箇所、鉛直断面ボーリング後エコーの閾値画像をによりまして分布性状の特徴、先ほどの①から③ですね。
0:13:41	偏析傾斜方向深部連続性について整理しますか。
0:13:45	なりません。
0:13:46	E-52ページになりますが、
0:13:50	偏析1方向について、二つの場面X1-X2断面で整理したものでございます。これら断面上の群列ボーリングで確認した断層の連続性により、それぞれ南傾斜を示すということからDFへ入シート断層は南側落下の正断層。
0:14:10	傾斜については、モナコに昼食がありますが、
0:14:16	ADFa断層、
0:14:18	掲載約42油脂は約80ます。

0:14:23	10 断層系の断層は地下深部で収斂しておりますべて南ブロックの変位センスを示していることから、同じ断層系として分類されるということになります。
0:14:36	2-52 ページあ、すみません、2-53 ページをご覧ください。
0:14:42	今度についてⅡについて、ため免除のP-3 個をのCT画像解析による複合面構造から変施設を判定しております。
0:14:54	ページのところ大野にActなどの鉛直断面でございますが、ここ面構造が南側落下のメールの正断層センスを示しております。一方右側の水平の面ではですね、ここに構造不明瞭で横ずれ成分が認められません。
0:15:12	次の2-54 ページ、同じ断面長の、ある日8 項になりますが、これもページの中程大西知ごとの鉛直断面がありますが、含め方面構造は南からこの明瞭な正断層を示しています。
0:15:27	営農に対して一方三河の制度面では方面構造異常で横ずれ成分を認められません。
0:15:35	ということから、CT画像でここにそういう変位センスはあそこの断面aでここには下は正断層センスと整合的でございます。
0:15:45	2-55 ページをご覧ください。
0:15:48	今度はその深部への連続性ということで、定めを示しておりますが、
0:15:55	硫断層系のはシングル信頼しておりますて、岩相加工延長部の分布します。酸性凝灰岩AT-25 年が認められないということから、粒度共和TPマイナス300m付近より深部に連続しないと判断される。
0:16:12	2 の56 ページですが、これはこれまで説明しました片括弧1 の陸域の理由断層系の分布聖書の特徴をまとめたものでございます。
0:16:24	一方、
0:16:27	できまして、2-58 ページ。
0:16:30	今度のかたっぽに対しまして海域のdF断層系の分布地域の特徴を見ているの検討構築します。
0:16:39	会計のdF断層系の分布性状、こちらにつきましてこれも表に示すと検討箇所を鉛直断面ボーリング、特に甌ごとによりまして陸域と同様に、①から③の項目を整理しまして、
0:16:54	陸域の縦断とかの分布性状の特徴と比較することで、会計の理由炭素経過陸域の丹生断層系と同様の特徴を有することを確認するものでございます。
0:17:06	2-59 ページミクロンください。
0:17:13	50 ページ人数が生じております。赤丸で示しか所に参考の3 孔のボーリングがございまして、

0:17:23	この参考のボーリングにより得た大きな理由断層系の断層の分布性状を確認して、
0:17:29	変位センスへ傾斜方向をすることを確認するものでございます。
0:17:35	なお会計幅野西川の米印書いておりますが、借入金の受験断層については、DFM1 からFM先ほど縦の表で示したものがございまして、これは同様の分布成長の特徴を有して先ほど一覧表から特徴を有するものと考えております。
0:17:57	2 の 60 ページにこの参考のボーリングの断面を示しておりますが、この主層中に紙等がございまして酸性凝灰岩AT以降お 77 或いは軽石凝灰岩のPT1 から 3 というのは分布しておりますが、
0:18:14	これらを用いまして、2 条の断層PFMうち断層PFMに関する
0:18:22	ウワツ見ながら込み正断層センス南傾斜を示し、
0:18:26	ということがわかります。ですね、
0:18:31	これは鍵層の性状につきましては、左下に注釈に付けておりますが、補足説明資料を総務 37 から 42 ページにさしております。これについては、
0:18:47	本件からヒアリングでお示したものと
0:18:51	資料
0:18:52	書いておりません。同じものでございます。ただ
0:18:57	3-3 中、
0:19:00	7 ページより前のところですね、3 の 28 から 34 ページです。2 ですね。
0:19:06	鍵層の認定の考え方ということで、その考え方を設定値にわたって付け加えております。
0:19:16	3 のとこの 3-29 ページについては、鍵層の認定の考え方の概要を示しております、
0:19:24	30 ページは、その階層がそこに広く分布するということを示しておるものでございます。その山頂 1 から 33 ページは、炉心のN-1 孔を用いましてこれを鍵層の性状を
0:19:39	Short一番仕事を曲線で示してるものでございます。
0:19:44	で、あの辺り太線赤い不等 8000
0:19:47	オレンジの太さと破線で示したものが日が会計のサンコーのボーリングの地質断面切ってくると三男でございまして。
0:19:55	これについて、マクニカの鉤観察で特徴的な岩相が判別できる測温識別認定するものの、ヶ月毎ということで記載しております。
0:20:11	次ポンプ戻りまして、2 の 61 ページ。
0:20:16	率が

0:20:18	今度沿線する傾斜方向については消防深度断面により確認しているものでございます。2の61ページを反射断面の測線位置を示しております62ページがその反射断面になりますが、図の左側の赤い一つ。
0:20:38	破線で示したものが大気の事務系た理由断層系の断層PFM1断層になりまして、
0:20:44	その変位センス、時証拠検討するものでございます。
0:20:48	新統100から140m付近に明瞭な強い反射面が青い波線でおまとめを示しておりますが、これが認められまして、約30mの南側落下の正断層センス、が判読されます傾斜約45° 中国の
0:21:05	南傾斜断層として判読されております。
0:21:09	前回比は前回ヒアリングで宮銀が落下の評価約50mとしておりましたが、これについては左下の昼食損に記載しております。岩相町名のページについてはボーリング等により反射面形状等を考慮しまして、
0:21:28	申請して30mとしております。
0:21:33	次に2-63ページをご覧ください。
0:21:38	63ページを参考のボーリングのうち、その601個のCT画像解析による抗原解読構造から変位センスを判定しております。
0:21:49	この写真の中ほどにCT画像鉛直断面示しておりますが、この面構造を南側落下の明瞭な正断層示しております。これに対して右側は水平駄目ですが、複合面構造は、
0:22:07	TPRは国道鉛直断面に比べて小さいということで、正断層センスが卓越すると。
0:22:16	また終わん中に軽石の変形が見られました。低位区分矢印で示しておりますが、
0:22:23	正断層センスが卓越すると、
0:22:29	鉛直断面ではやっぱり正断層センス側面構造が明瞭に認められるに対して水平断面では横ずれ添付が求められないということから、正断層センスが卓越すると判断された案件されます。これについては次の2-64ページに来くどいことをつけて、
0:22:45	おりますが、ひどい人を2a-対の鉛直は鉛直断面を示しておりますが、オレンジの点線で囲った部分これこれしなります。そこでは瀬断層、S5億面構造が明瞭に認められます。
0:23:02	一方右側、に今回新しく下水道ネットをつけておりますが、ここでは横ずれ成分と利子のところに横ずれ成分決められたということから、正断層センスが卓越すると判定されます。

0:23:19	2の66ページ、ですが、この別のS6-S-602孔で同じように設置ごとでここにしておりますが、
0:23:29	仲人
0:23:31	のCTの鉛直断面では南側落下の明瞭な正断層センスを示すということに対して、右癒しについてため二つ示しておりますけれども、複合面構造が示すその横ずれ成分がわずか或いはほとんどないということから、
0:23:50	これは正断層センスが卓越するものと本店ですか。
0:23:54	従いまして、シンチ口頭による変遷するっていうのは正断層センスが卓越すると判定されて、先ほどの三坑守口ために示される南側のこの制度の敷設と整合的というふうに今後、
0:24:08	次の2-67ページをご覧ください。
0:24:12	今度は③深部への連続性ということで、会計の粒度点だというふうにも1断層の閉める連絡職員とするものと、
0:24:24	F1断層の下方延長
0:24:27	による紫色の下線で示してるの玄武岩長面の反射面になるとなりますが、ここに正断層変位幼稚園小さくする明瞭な南側落下のずれは認められないということから、公務な概ね進路約300mより深部には連続しないと。
0:24:45	考えており、
0:24:48	2-68ページの方を御に海域のリフト発言分布性状の特徴求めたものでございます。
0:24:56	いえ、下見印象がありますが、①の変位センスは正断層南側落下の②経常ここは南傾斜となっておりますまた③、概ねて深度300mより以深分より良くないと考えられることから、
0:25:13	右側に陸域のほうにフランスを経営の表をあわせて承知しておりますが、陸域の断層系と同様の特徴を有する
0:25:21	そういうことを確認しています。
0:25:26	2-69ページ。
0:25:29	次に片括弧3回機能リリーフ断層系とsF断層系の区別ということで、求めております。
0:25:38	1人下のキャプションになりますが、敷地の北側の陸域にはああいう断層競馬破損位置が海域には政府一覧総括飛んで広域の理由断層系とsF2断層系が分布しております。
0:25:51	衛生部断層系の圏域というのは横ずれセンスsF1が右ずれ政府には左ずれであります、正断層センスであるdF断層系A及び会計dF断層系と変位センスが異なることから、これらの2断層系の区別の考え方。

0:26:08	次の二つのポチで示しております。
0:26:11	一つ会計なり断層系をケアに向かってNS走向のsF1断層からNESW6に離れる部分こう示しております、SF1断層との地質構造的な関連が考えにくい。
0:26:24	sF1断層の右横ずれセンスと変則とのことからSFP炭素と異なる断層と神田さん。
0:26:30	一方てっ政府に断層系との関係ですが、
0:26:35	海域の理由断層系に近接するということから、政府に断層検品する特徴についてはですね、次の2-70ページで比較して整理してございます。
0:26:48	次の2-70ページですが、
0:26:56	承認示すマツ通り、01から4町田編助勢による変位センス②が複合面構造による変遷分散がいつ構造解釈上政府位置との関係。
0:27:09	今のような見込み返上するってことで整理しております。
0:27:14	電話で助勢による変位センスの違いっていうことですが、会計の堤外長崎県については、断層面が密着してイタリヤ構成上の不良等により移動せずに出た人くしと一緒に、まずけれども、政府に観測点については掘削面地質観察から助成、
0:27:33	ほぼ水平で横ずれ、潜熱を示した。
0:27:37	条線データについては、補足の4-2ページ、4-3ページをご覧ください。
0:27:49	補足の4-2ページはですね、コスト削減において条線とこう面構造の観察に演出を安定してるものでございます。途中で赤いいえいえだJALと記載した部分、これが左横ずれを示すもので、
0:28:06	時sF2断層系は1人崩れの検証員センスを示している。
0:28:12	ということがわかります。
0:28:13	また図中の黄色い丸で示した部分、これは条線の伏角を計測した箇所になりますが、これが概ね整理から重度を示しております。まとめたのが左下の表に記載しておりますが、
0:28:29	この写真の露頭写真については次のページ、4-3ページに、
0:28:36	○示したものについては4-3ページに示しております。
0:28:44	次に本件戻りまして2-70ページ戻りまして、②の複合面構造をおによる変位センスの違いですが、会計のPM炭素系については、先ほどCT画像等で説明Aなどで説明しました通りに
0:29:02	含む口座南側落下盛大な正断層センスが卓越しております。
0:29:07	鉛直方向の画像量は飲料な正断層センスを示すのに対してS方向の画像では、横ずれ成分をほとんど認められないということは、

0:29:16	複数確認されております。
0:29:19	一方SFリーダーに断層系については、同じく公園構造の観察から左横ずれセンスが判定されております。これについては、あれと補足の4-4ページ以降、ちょっとご覧いただきたいのですね。
0:29:36	また後続の4-4ページをご覧ください。
0:29:40	これはSF2-1断層の変位センス掘削面底盤Eというところなんですけども、昨年度の感覚からここ面構造は右下の右側の後藤になりますけれども、メールの左来ずれセンスを示すことがわかります。
0:29:58	次の4の
0:30:00	6ページ7ページになりますけれども、同じ経営底盤Eのコースで今度薄片で確認しております。水平断面になりますので、これによりますとですね、右上の画像をに個目構造書いておりますが、
0:30:15	メールの人横ずれセンスを示しております。
0:30:20	次に4-8ページ。
0:30:22	今度、これも同じ場所ですが、今度削減可能鉛直断面となります。
0:30:27	鉛直断面で見ますと、Y面とP面、A-A国法小さく系統的にあるバンというのは認識されませんので鉛直成分の変質が認められないことをおります。
0:30:43	これに
0:30:44	4-
0:30:46	10ページをご覧ください。
0:30:49	小堀っ子さんなりますけどIT26戸となりますが、右下の二つ、政府地域ごとであります。水平動面では左横ずれセンスを示してございます。
0:31:03	右側真ん中に鉛直断面がございまして、これでは断層面Aは弯曲しております。複合面構造が増えるということで、政府に気管挿管左横ずれ変位センスであることが判定されます。
0:31:18	4-11には、今度SF2-2の断層になります。これも同じように、右下の水平Actの水平断面では明瞭な横ずれセンスを示されるのか、市、右側、真ん中の中頃の鉛直断面では、
0:31:35	この構造が不明瞭ということで、
0:31:39	sF日本にも左横ずれのセンスであると判定されます。
0:31:44	この4-12ページのこれは政府2の3断層にあります。
0:31:50	これはですね、日取りいいかは二つが左下二つが資金の水平ばねにした部分が鉛直CTの設計ということになります。
0:32:01	左下の制度面では複合面構造が明瞭の左横ずれ変位を示して示されるんとして右下の鉛直断面では、

0:32:11	大間の断層面が弯曲しておりまして、明瞭な込む構造が認められないと。
0:32:18	ということで藤野さんも左横ずれの変位センスであることが判定され、
0:32:24	ということで、
0:32:26	あと、本件、
0:32:28	円の 2-70 ページに、
0:32:30	5 いただまして、
0:32:33	③の引きつけ構造解釈の違いということでsF1 断層との違い。
0:32:41	関係をお示しておりますので会見dF断層系については、先ほど 2-69 ページでお話しましては、平面的に瀬口断層とも骨格は広角で大きな向かって離れることから決構造的なパンダ考えにくいということが一つ。
0:32:56	それから、正断層センスが卓越して正断層系の横ずれセンスと異なるということがあります。
0:33:03	一方、sF2 断層系については、平面的にsafety断層等の広告は 130 ということで、広角傾斜で近接して分布しております。
0:33:15	またsafety断層右横ずれ政府に断層系は左横ずれの変位センスを示しているということで、NESWの水平最大信用力軸の応力場で同時に形成された共役断層ということが推定され、
0:33:33	ことで、
0:33:36	あと④については網掛けの変位が生じる理由ということでそれぞれの地区やっばりときますが、会計事務断層系については正断層啓発するということですが、けれども地層の傾斜によって左横ずれを形成するように見えております。
0:33:51	後で政府に断層系については横ずれが卓越するんですけども、南に緩く傾斜する地層をの相場観の平均傾斜するということで、見かけ上東側落下する予定とを求めています。
0:34:06	後で
0:34:07	①、②の変遷するからですねばいけないという断層系は正断層センスが卓越に対しまして浅部断層系は 1 人横ずれセンス同時であり、面接が異なること、
0:34:20	今のその地質構造解釈から会期のdF断層系は分布変位センスでもって、構造的特徴等から政府に断層けどの関係はないと判断されるということから、会計のdF断層系とsF2 断層系は別の断層系として区別されつつ、
0:34:40	2-71 ページは今説明いたしました。ただ、ここ 1 から 3 についてまとめたものでございます。
0:34:50	結果によりまして、会期のdF断層系は正断層南側落下の変位センス南傾斜深度 300mより深部に続かないという特徴が陸域のdF断層系と共通であると憲法に分布するsF2 断層系へと建設が異なる。

0:35:07	ということから、陸域のリリーフ断層系と同じ断層系に分類します。
0:35:14	2-72 ページをリーフ断層系の分布性状についてまとめですが、そういった
0:35:21	ほぼ起こり中性ございません。会計dF断層系について、文言超えてるところ でございます。
0:35:32	はい。
0:35:37	次に 2-75 ページから 10 断層系の活動性評価ということになりますが、
0:35:44	この下側ですね、上載地層法によることを強くなったところで
0:35:51	すけれどもは前回ヒアリングでは二つの断面X1X2 断面aもとにして資料を 整理しておりましたが、今回恒設ちょっと変えまして、このポツの括弧の中に例 えばdF断層等渡そう効き目の関係の評価二つ目がBF
0:36:11	その想定延長部付近を私どもの性状の 4 日、三つ目が終わったらそっちの箇 所区域の分布性状ということで、構成を少し変えて、
0:36:21	おります。
0:36:24	2-76 ページは、代表断層の選定ということでここは出席はございません。
0:36:30	2-77 ページの検討に使ったボーリングってのを 1 というのですが、前駆費 用に変更がヒアリングでAPの 5 項あるうちの 3 個を受けておりましたので、こ れ、追加してきたいと思います。
0:36:45	2-78 ページからのページ、
0:36:49	5 ページですか。
0:36:51	ページにわたりまして、流動ん相当大型層基底面との関係をシステムをこれに ついてはないように変更ございません。
0:37:00	黄土層の基底面に断層を示唆する南側落下のページ、認められないというこ とでAM整備しております。
0:37:08	これは 2-83 ページ、ここからリーフ断層の想定延長部昨日またその性状で ことで、
0:37:15	記載内容ということについてですが、
0:37:20	この部分については想定延長部付近の性状のみに記載しましてそれ以外の 部分の
0:37:30	エーッ性状については後の項目ごとの項目で
0:37:36	分けて構成を超えております記載内容については、特に変更ございません。
0:37:42	ねえ。
0:37:44	2-
0:37:46	88 ページから今回新たに整理をしました大型装置の加速器の分布性状をとい うことで、3 ページほど載せておりますので、88 ページを検討方針というこ とで、この前に

0:38:02	想定延長上の性状ということで①から③の性状を示しております、特にこの③の性状を想定営利Fa断層想定延長部に一部に直しとか食育分布するというので、この性状について、
0:38:18	断層延長部以外、延長部の活動について分布性状の断層との関係を検討したところでございます。
0:38:29	2-89 ページが活性区域の分布ということでして左上に
0:38:35	ボーリング位置図、これにも示しております、赤い丸で示した部分が大型装置に移行するP波認められる位置を示しております。
0:38:50	大畑層中には、その町面的に富んだと考える話と、IT二十一、二十二項の位置図の右側に二つ困るかとございますか。初物離れた部分を認められ、
0:39:03	もうちょっとあと、さっき説明して
0:39:07	7 ページに出てきてるんか行くせき止めへのをどんどんボーリング、
0:39:14	についても、
0:39:17	運営に蓄積断面の断面を、落ちておりますが、赤枠で囲った部分、これが延長以外の部分にも、いくつか認められると。
0:39:27	ことで、同様に褐色力以下ワークすることが起こります。
0:39:34	その応分と性状ということで 2-90 ページに更新統の来ておまして黄色い枠で囲った部分が職歴動いております。
0:39:48	で、一番左下のほうにその想定延長部の方と倉庫の波食フィリピンの写真を載せておりますが、これと
0:39:57	この中のものが想定延長部以外でも、上のなんかで認められるってことは、
0:40:05	この性状のほうに関するし、記載にアクションでいくといたしておりますがそれについては記載変更ございません。
0:40:14	今 91 ページはこれdF断層系とdF-a断層等は高さの関係としてまとめたものでございます。
0:40:23	これ以降、92 ページ以降にF2 断層等果たそう無関係にF3 断層等は塗装の関係については変更ございません。
0:40:33	299 ページ、
0:40:36	Fのときの活動性評価のまとめでございますかこれについても変更ございません。
0:40:42	最後 2-101 ページ断層の評価をまとめございますが、これについても変更はございません。
0:40:48	説明は以上になります。
0:40:55	ありがとうございました。
0:40:58	それではちょっとこちらのほうに確認していきたいと思っております。

0:41:06	あります。
0:41:16	施設のですけれども、まず法律構成だけ確認。
0:41:22	結局、
0:41:24	かわいいP
0:41:28	陸域のやつについては、よりFa150mの落差があるものを代表として選定をできるということで、DFAO果たさ変位変形を与えてないからは活断層ではないと評価して、
0:41:44	じゃあ海回ってdF系と同じ性状で大丈夫ですね、DFへはナンバリングしてるけれども、そこは確認できてますかって話。
0:41:57	だけど、全体の流れとしてのDF系についてごろ。
0:42:08	陸側の長は、
0:42:16	陸側のナンバリングしてるやつの延長かどうかということについては、販期間をしないなんかできないのかどっちなんです。
0:42:28	プラス、
0:42:29	見舞わナンバリングをしないと幾つナンバリングしてるんだけど、これはCなんですけど、ナンバリングをするんですかしないんですけど、3です。
0:42:42	結局ナンバリングを割りまして、
0:42:49	両方線を確認した結果を
0:42:55	それで断層、
0:42:57	それに数も卓越する。
0:43:00	ものを高いが、
0:43:04	DF
0:43:06	系統評価をした
0:43:09	こういう
0:43:11	これってDFこの書き方の効果だけdF系は南落ちのSaaS等であるから、
0:43:19	南落ちであれば、この
0:43:21	dF系です。
0:43:23	そういうっていうんですけれども、
0:43:26	これっていう。
0:43:30	言葉だけは取っていないわけっす南落ちたからは、まず亀裂ですっていうのも逆断層か正断層かって言うて南落ちても違ってきちゃうけど、
0:43:44	皆さん方向分布を見た上で言っているのを前提とすればそうなんだと思うけど。
0:43:52	これすらする逆断層とか、
0:43:55	南落ちて傾斜 45 でありますと同じ金利伝わっていませんので、

0:44:01	そういう点は南落ちたから、
0:44:05	まず系列ですってということで、それで発震ですか。
0:44:22	電源開発の越智モチダです。
0:44:26	例えばナイトウさんからのご指摘でまず最初の
0:44:30	陸側の延長として今回会計dF断層系、
0:44:34	でしてますけれども、これらの個別の断層判断できるかできないかっていうところは、これは我々としてはそれぞれ個別に使うとシェアできますけれども、海峡dF断層系ということでも今回一括して判断しないと。
0:44:49	個別に判断しないということにしております。
0:44:53	次のナンバリングしないかどうかっていうところは、今申し上げたの海域のdF断層系として一括しておりますけれども、例えば図面でですね、先ほどの参考の断面図とか、
0:45:05	ありましたけれども、そこでどうしてもやっぱり個別の断層ごとに反省できますので、やはりそういう個別の断層として、図面上表記しないといけない場合には、そういう法律の要求するけども基本的な理由断層
0:45:21	会議のdF断層系のという表現をしてるということになります。
0:45:25	それと次の条線を
0:45:27	確認さ結果正断層が確認されたってということなんかどうかってことなんですけれども、
0:45:32	日本 7070 ページですね。
0:45:37	これを見ていただきますと、
0:45:42	まず①の変数のところだと思います。
0:45:45	これ海丘っていう断層系は向こうに記載の通りですね。
0:45:49	あのボーリング坑での断層面は密着するとか、或いは高精度の不良とかでですね、除染データ不足困難ですので、今回その下の表のですね、丸いの併設校面構造で反応しております。これは前回御説明した通りでございます。
0:46:06	一方ですね、その右のsF2断層系については、これは今回補足説明資料で、先ほど掘削面の条線写真4までつけておりますけれども、明瞭な条線が認められる断層でございますんで。
0:46:20	それでこの先生音がはっきりわかると。
0:46:22	いうことで違うということでお示しております。
0:46:27	最後のdF系の南ですと言ってるけれども、正確かどうなのかっていうところなんですけれども、
0:46:33	これについては私どもも基本的に今回の中で、海域のTF-M1mに
0:46:40	説明しておりますけれども、基本的な南落ちで、ADUFMEAルート正断層。

0:46:47	陸のほうも基本的に正断層多いんですけども、例えばDFへ陸のほうで言いますと、傾斜が45度とかですね、そういった方傾斜でDF主流と同じと発注とか近く提携先で、
0:47:03	補足ですね3-27ページを
0:47:06	ちょっと見ていただきますとですね。
0:47:09	その辺の違いが接続になってますので、
0:47:13	それはわかった上で機器
0:47:15	すごい南落ちたからどう経理使っている表敬をすると本当に大丈夫ですか。
0:47:21	基本的にdF断層系は陸も海もすべて南落ち、
0:47:27	共通でございます。
0:47:30	言えない。
0:47:31	南落ち度がたら綺麗なづきですということについて、それで本当に大丈夫ですか。
0:47:41	1もdF系の形状を見た上で、
0:47:47	南モチダって説明あったみたいだけど、南落ちだからみんな京葉瓦斯系列ですってということについて内訳の、
0:47:55	はい。低層部不足でしたけれども、この陸も海も基本的に南落ちの正断層。
0:48:03	ということで、同じ断層ということで説明をしております。
0:48:08	ただ広角のものについては、補足の3-27ページのように、
0:48:12	南落ちなんですけれども一部高角の傾斜のわずかな違う向きの違いによって、逆断層的に見えるという。
0:48:19	それを説明しております。
0:48:22	規制庁なんてですけども、そこはちゃんと正確に記載してください。このdF系陸域のところについては見かけ逆断層なってるやつあるんだけど、連続性を確認すると、DFに収れんするという形になっていてというそういう特徴を踏まえれば、
0:48:39	約4ソースに見え見かけ逆な薄まってるってことですので皆さん一生懸命説明してきていたはずなんだけど、まずはdF系を取りまとめるということだと南落ちたから、dfケースって、無茶苦茶省略しちゃってパスがないことを書いてあるので、そこちゃんと正確に記載してもらえませんか。
0:49:01	。
0:49:02	はい。今回のまとめる表の中でもですね、南の正断層というふうに書いてますけれども、もう少し
0:49:09	わかりやすいか説得性のある表現できるかどうかを検討してですね、考えたいと思います。

0:49:17	説明よろしくお願ひしますと。
0:49:20	右側の四つの系統を抽出を確認しているのが二つで見えて、
0:49:28	あと日本分岐しているやつがあるはずなんですけども、これは実際には見ていないということでもいいですか。
0:49:44	運動センスを見ていないということでもいいですか。
0:49:47	見ていないってことであれば、何をもって南落ちの正断層場というふうに評価をした上でDFけれどというか、そこもあまり答えがわからないんです。
0:50:02	はい、電源開発のモチダです。今ご指摘の部分は
0:50:07	我々個別に言うとするdf-M3.4の
0:50:11	私からどう思います。
0:50:12	これについては我々のボーリング孔で確認してまして、地質構造の解析からですね、見かけ上南東側傾斜南東落ちと何とかをちょっと
0:50:23	子育て南側のうちということを確認しておりますので、それをもって南落ちの正断層センスということで同じdf系と会議のリース系ということで判断しております。
0:50:38	。
0:50:45	聞いて参りますけれども、その辺もちゃんとしっかり、
0:50:49	採用してもらえませんか。データをもって判断根拠がない形の資料となっているので、プラス、これで招聘等、傾斜等を地方だけじゃなくて、それをどう伝えた上で分岐しているという判断しているからっていうところも、
0:51:07	続いての判断っていう、そういう理解ですか。
0:51:15	はい。鶏舎統治だけでなくて分布を考慮して判断になります。ご指摘の通りです。それで論理構成の話なのですね、最終
0:51:29	もう
0:51:32	本当にコストがないけど、これに2-49ページに書いてある通り、1-3と書いてある通り、
0:51:42	合ってます。
0:51:47	いや例えばね、2-49ページにIT-64ということで、
0:51:53	西から東に斜めボーリングって組合とかって、だけど、
0:51:58	1-3名とそんなボーリングは会計になさそうだし、
0:52:05	この辺という
0:52:06	合ってますのとCSSようトレンチっていうのが、
0:52:12	何か1-3には、
0:52:14	そうにも見えるんだけど。

0:52:17	そもそもPS4 これって何を見たんでしたっけってのはちょっと記憶から降っポンてしまってるんですけども、その辺大丈夫ですか。
0:52:29	はい、電源開発のモチダです。
0:52:32	今の2-49ページのIT-64につきましては、この1-3ページですねちょっとあのボーリングを掘削して見にくいんですけども、汚染としては入ってございます。
0:52:44	それと、その件ベース-4トレンチ、これもですねちょっとあのボーリングとかに重なって見にくいんですけども、トレンチとしては1-3ページに入っておりますので定数4都立といいますのは、
0:52:57	シームの活動性のところで、以前の会合でお示ししております、
0:53:04	それで示す以上は切れてるような形でDF当時df遊ん瀬戸内というか、df-2断層ですかねとして戦争しましたけれども、データとしては今までお示してるものでございます。
0:53:18	以上です。
0:53:27	既設のナイトウです。1名、
0:53:32	本資料のわかりやすさから言うたらこれで22-49とかのやつって集計性のところで、
0:53:41	聞いてても全体図、敷地の全体像を見ると、埋め立てこうやつなんて言って比較資料一種づらい。
0:53:50	何か工夫していただければと思う。
0:54:02	はい、電源開発のモチダです。了解いたしました。もう少しわかりやすくなるように、図面低サイクルしたいと思います。
0:54:13	あと確認なんですけれども、
0:54:16	2-76ページのまとめ表のところに廃棄のDF決定変曲げ災害併用のH25mつてなってるけど、
0:54:30	これは部門データ引っ張ってきてますか。
0:54:34	25mですっていうかざっと見て見当たらなかったんですけども。
0:54:52	。
0:54:53	電源開発のモチダです。
0:54:55	補足の3-5ページ。
0:54:59	のところに
0:55:02	海域のdf断層系のに該当するボーリングことについての対応がありますでしたからですね。
0:55:10	5行目の
0:55:12	ところのSの68という。

0:55:16	ボーリングで見かけの鉛直変位量 25mということで、
0:55:20	記載しております。
0:55:27	。
0:55:27	。
0:55:29	それでこのS6 打ち合わせにつきましては、机上配付資料ですね。
0:55:35	通して柱状図とボーリングコア写真、
0:55:39	を載せておまして、柱状図の記載の中ではこのTFを断層っていうことは記載してございますんで、三つのAOをご覧いただければと思います。
0:56:25	本当に出ておられるわかんない。
0:56:30	非常に
0:56:33	結論です。データどっか持ってきたかは、
0:56:37	わかりましたが、当本体資料上かけられなくなっちゃっているんで、ちょっとその辺は今後 3 分を移送IPOdF系の
0:56:53	めくっ見かけ鉛直とか最大破碎幅ってボーリングデータとかって持ってくるなりして、ちょっと
0:57:01	本体資料でわかるような工夫はしていただけますか。
0:57:07	はい、電源開発のモチダです。承知いたしましたの本体の中ですね、参照すべきこそ補足資料等々のページわかるように記載したいと思います。
0:57:27	はい。
0:57:29	規制庁ナイトウですけれども、海域のD級のボーリング調査の結果として破碎幅なり最大共同評価してると言うまとめば
0:57:40	今回は見えてもらえませんか。
0:57:44	その詳細なデータは、コア写真とか、注力そういったものが参考に、まずだけですけれども、
0:57:53	ITいえ系はどういった特徴を示すものかというまとめをいっぱい入れてもらえませんか。
0:58:05	。
0:58:06	。
0:58:07	はい、電源開発のモチダです。承知いたしました。今補足の中で山王まあ 44 ページから示しておりますけれどもこういった
0:58:18	それ作り示せるの部分も含めてですね、どういう特性上的に特徴があるかというのを本体の方にも記載させていただきます。
0:58:30	。
0:58:38	すみません、ちょっと勘違いしたかもしれません申し訳ございません、今、ナイトウさってのは補足に入ってる製造の表とかをですね、本当にということかと思

	いますので、それ性状とかの大事な表につきましては、本体のほうに盛り込む形で補正を変えたいと思います。
0:58:59	規制庁中ですがけれども、この具体的な今っていうのは、補足の3-5の性状一覧表とかですね、そういった表形式のやつは、本体側に入れ込んでいただいて、
0:59:14	この表のバックデータのやつはちゃんとつくばにきちっと言ってくださいという趣旨ですのでそういう形をお願いできればと思います。
0:59:26	はい、電源開発の持つ係数承知いたしました。
0:59:29	。
0:59:32	はい。聞いてナイトウです。あともう一つね、今回の資料の構成の中では、結局、技術系は深部に続かはいってという話を言えとDFDF言明Mはもう2の62ページ1ページのところで入れてるんだけど。
0:59:51	これって、
0:59:53	いるんですか。dF系を電発さんがどこで評価してるかっていうとPFMですべて代表できて、倉庫計算は横浜
1:00:04	定量を考えたときに、EFKEK代表できてきて果たそうで影響を与えてないから、活動する中ではないっていうところで昇降しているというふうに認識しているんですけども、
1:00:19	この辺のデータっていいんですか。
1:00:29	推定になろうとあわせて言うと、この辺もデータ場合いるっていうだったら、ベイケーブルとかその辺のデータは何ではないかなっていうところもあって、
1:00:41	どこで勝負するんですかって言うところを確認したいんですよ。
1:01:19	電源開発のモチダでございます。
1:01:22	今御塚があった点につきましては、基本的に我々やっぱりマルチの編成するとまずいの傾斜方向ということで表に書いてございますけれども、基本的にはこの二つで、
1:01:32	評価をしております。
1:01:34	今指摘のと深部への連続性の③というのは、参考的な形で入れておりますので、頂部するという意味では①②を建設と検層孔でございます。
1:01:47	層面にて想定については-2の68ページ。
1:01:51	のまとめる文章のところですね。
1:01:54	f今申し上げたところを少し表現として工夫して書いておりまして、
1:02:00	この文章で3行目のところですね。下表の通り①-変位センスは正断層南側落下及び②傾斜方向が南傾斜と判断され、

1:02:10	でも、基本的に判断するのはここでメインのところです。また③の運営ということで考えられるということで書いてある深度 300 約 300 名たり、
1:02:18	事務連絡が考えられてるからって書いておりますので、遊ぶ。それと考えておりますが一番あり、
1:02:25	でございます。
1:02:28	規制庁ナイトウですけれども、
1:02:30	①、②で勝負ができるっていうのであれば、③は、
1:02:37	としてもらいたいと思いますというのは、いやいやそこも微小不純物やるんですっていうのは残していただいてもいいけれども、これをこうすると等に政府計画。
1:02:53	のところ、深部に続くか続かないかで皆さん書かけられているので、それがきっと出ないと、ここは議論できないので、
1:03:03	にわとりと卵の関係になって、
1:03:06	どういう形でやりましょうかっていう問題を持ったけど、
1:03:11	そこは、
1:03:13	どうするのかっていう考えて資料構成していただきたいと思うんですけど。
1:03:24	はい。今のナイトウさんの御指摘も踏まえましてですね、基本的に我々の趣旨としては①②ということがわかるように、補正もちょっと工夫してですね、資料に反映したいと思います。
1:03:38	はい、よろしくお願いします。
1:03:45	中身が中身があっても結構出てるということで、
1:03:54	漏れていると思うので、
1:04:03	これはもうこれだけナンバリング繰り返してるだったかというふうに考えてですね。
1:04:10	いろいろ
1:04:14	どうぞ。
1:04:16	規制庁会社です。私も似たような話かなと思うんですけど、県民させていただきます。
1:04:23	今日dF系とdF系っていう
1:04:30	例えばさっきの 60、
1:04:32	2-28 ページのか傾斜方向で説明されるという。
1:04:37	ここで理解したんですけれども、
1:04:41	dF系の 1 岐阜県を含めてですね、占有とかって多分今まで
1:04:48	説明とか 100 かと思うんですけど、ちょっと私この辺の資料でですね。
1:04:54	ないですか。ちょっとその辺、

1:04:57	は、今どういうふうと考えられてるかとか、この資料上どうなってるかって言うんです。
1:05:03	お願いしたいんですけども。
1:05:12	はい。電源開発のモチダです。うんっていう系につきまして特に西縁はですね、議論を今しておりません。
1:05:23	それではとりあえずどういうなりですね、できたかというところに見つけは特に策定セールスとか傾斜方向とかさ、走向傾斜も含めて、こういった会計上の類似性から、同じスガヤに整理するという。
1:05:44	ここと思うんですけども、そういう資料だと思っておいてよろしいんでしょうか。
1:05:53	電源開発のモチダです。その理解で結構です。
1:05:58	ちなみに、先ほどの点、承知しました。
1:06:05	。
1:06:07	すみませんけども、今、DFの整理は特に、特に何かっていうことについて、SPARTありませんという。
1:06:20	もっと
1:06:21	それは無理解しました。ただ、あまり数年性状とか分布を考えたときに取り組みについてはどれぐらい等の措置を囲むような形でdF系が発達しているっていうことについては取りされてるわけではないということでもいいですよ。
1:06:40	はい。
1:06:42	はい、電源開発のモチダです。今おっしゃる通りで我々分布としては確かにデイスaitの普通になることは事実ですので、これ自体取り下げたわけでもありません。あくまでも分布という意味ではおっしゃる通りです。
1:06:59	はい。分布を見て広がりを見て海側とも連続を確認してFkという形で評価をできるので、水源については特に評価必要がないので特に考慮はしないという そういう
1:07:14	論理展開っていう理解をしておけばよろしいですよ。
1:07:20	。
1:07:21	電源開発モチダです今墓石の通りでございます。て結構です。
1:07:28	はい、わかりました。ありがとうございます。
1:07:34	規制庁タニです。ちょっと私細かい話になってるんですけど、2-63ページの
1:07:41	に関して、
1:07:42	これちょっと日程がしつこいようなんですけど、これらの粘土状破碎部がしっかりやるような後半ですけど、ここでもやっぱり造成もするのは難しいということなんですよね。

1:07:57	電源開発のモチダです。そうですここでもですね、条線なかなか難しくてメールなものはありません。
1:08:05	。
1:08:06	配管の入出庫しました。それでこことここでのなんか横ずれ判断が政府の話のときに、
1:08:15	猫のPETと会われる一応の高角、こういことを言ってるんですけど、どうしていいと道を見たのか、これなんで横割りととの関係と込みなんですかっていうのをちょっと考えて欲しい。教えてください。
1:08:34	はい、電源開発のモチダです。
1:08:36	この子の場合は今治として示しておりますのが粘土状破碎部のこの写真でいうと下面のほうですかね、赤い線で示しております、比較する意味ではトークちょっと離れたところにあるわよりも、この実際にこの
1:08:52	金融PR打ち切られた形になっておりますけれども、この効果額を見るをよりわかりやすいという点からですね点ということも考えてこういった経緯度1報告ということで表現をさせていただきます。
1:09:06	。
1:09:09	わかりましたけど、僕の方のちょっと趣旨としては何かPと変わるとかって短い範囲でちょこちょこと見ているんじゃないのかなと思ってそういったことがまずのところなんで、角度がより正確のほうで見ないのかなっていうのをちょっと思っただけです。あと、
1:09:27	それは
1:09:30	S確認できました。それで、この
1:09:35	ある①ということはもうDBとかもここまでこれ全部そろってるんですよね、要するにこの実線を全部あるうちで矢印はある貯槽あ→側がこっち側に動いてるかっていうのを示している。そして破線のほうは、
1:09:54	P面なんだっていいですか。
1:10:00	はい、電源開発のモチダです。今ご指摘の通りで、実質黄色い実線がある位置黄色い破線がPで矢印かけてるのはR1、
1:10:10	であるうちのY面を境は地面からいうとある1場面の反対側のほうにいろいろ起こってる人つけているというものでございます。はい、そうねちょっと判然もらっとるのかと思います。
1:10:24	よろしく申し上げます。
1:10:33	ちょっとすごく細かい話だったんですが、引き続き、すごく細かい話なんですけど、なんかどっかに降下広角であるという記載があったと思うんですけど、ちょっとそういうわかりにくいかなと思って、
1:10:45	僕が高い各部って何かの地質で言うと、

1:10:51	経営者の方がよくイメージでして、ちょっとその辺は適正化したほうがいいかなと思っています。
1:10:59	いいですか。はい。低減化そのものペーモチダです。日本 70 ページの表の中の表現だと思えますけれども、
1:11:07	表の会議のdF系の③番、窒素と解釈のところの
1:11:12	1 ポツ目の真ん中辺りですかね平面的に、sF断層との高角を広角でというような
1:11:19	このてると思いますので今タニさんおっしゃったような表現。
1:11:22	考えて工夫したいと思います。
1:11:26	はい、お願いします。あとそれ私、
1:11:29	あれですけど、要目資料と思い込んでいないんですけど。
1:11:34	ここも玄武岩っていうのは、岩相で大間層やデイサイトとどういう時代の関係になるんでしたっけっていうのは、
1:11:45	簡単に教えてください。
1:11:51	玄武岩等提出された大間層の順番。
1:11:59	電源開発のモチダです。現場側で実際とともにどちらの加入がうん。
1:12:06	考えておまして、どちらも大間層に管理しておりますので、大間層が大体 10 から 12Maぐらいの時間、
1:12:14	それに関連した時期のどんどんそんな時間かからないですけど、同じく後期集中審査の中に貫入した搬入案というふうに考えております。
1:12:29	返済の特約が同じぐらいの時期っていうことなんですか。順番報告に持っていないということで、
1:12:37	そういう説明ですか。
1:12:41	電源開発のモチダです。はい特に順番ということじゃなくて、ほぼ同じ時期にということ考えております。
1:12:47	。
1:12:48	はい、今回確認しました。
1:12:51	その間です。
1:13:09	いや、ちょっと1点教えていただきたいんですけど。
1:13:16	私かわからないかもしれない。
1:13:20	3-
1:13:22	24 ページで、
1:13:25	コピーFA
1:13:28	次のP3 以降の震度が 61 件で、こういった視点で断層面の傾斜角、
1:13:37	76 号。

1:13:39	されてるんですけど。
1:13:41	時表明方法。
1:13:44	これ、入射角 45 から 60 の間で囲まれてるんですけども、この違いってことなんだと教えていただいてよろしいでしょうか。
1:13:54	はい。
1:13:56	。
1:14:08	電源開発のモチダです。来確かに 3 の 24 ページは傾斜角 70 と書いておりますけども約ですので、基本的には柱状図の記載のほうが正しいと思いますのでちょっともう 1 回確認させていただいてですね。
1:14:23	テキストがそれぞれなるように必要に応じて、ちょっと考えを修正したいと思います。
1:14:31	対策作業思います。
1:14:38	はい。
1:14:42	はい。
1:14:44	ただ、
1:14:47	規制庁ナイトウですけれども、今のさっきの玄武岩とデイサイトの関係でふと思ったんですけれども、
1:14:54	重力異常の代わって、今までデイサイトの貫入範囲との関係で説明方されている。
1:15:04	だけど、
1:15:05	そうした玄武岩も加入しているのであれば、それと重力異常の関係。
1:15:12	で、
1:15:14	どうなってるのかなとふと思ったんですけども。
1:15:23	。
1:15:24	はい、電源開発のモチダです。
1:15:27	今御指摘の点はkJで申し上げますと、地質の概要のところに入ってると思いますのでうちの 25 ページ。
1:15:34	だと思えます。
1:15:41	これが斎藤の推定分布範囲ということで多発する重力異常ですので、タガミ町なのでその現場があるようなところまでは対象にしてなくてですね、科学的浅いところにある斜方そこで密度の高いような
1:15:57	ものをこれで下げるといことで、あと重力異常と示しております、この中でこういう密度の高いところがないほど出てくるということ、深いところではなくて、浅いところにある。
1:16:07	岩体ということで、こういった停止後の推定分配ということで示しております。

1:16:12	。
1:16:17	規制庁ナイトウです。
1:16:19	うん。
1:16:21	今いっぱい国交は理解しましたと雲々沖合のマイナス 0.9 ってやつをしましよ うっていかまだ残ってはいるので、そこはちょっと今後の考え方が設定できる ようであれば、整理をした考え方を教えていただければと思います。
1:16:40	。
1:16:40	電源開発のモチダです。はい。不確かさこれ以前の会合でも同じような指摘だ ったかと思ひまして、この同じ 1-25 ページのですね、キャプションの直上の 右側にあまりちょっと見えた右上のほうに過去約 300m 圏内の
1:16:56	低重力域、これは培養する点検の部分ですけども、これミスト低い大間層の シルト分がですね、中央付近まで分布する領域で位置しますので、
1:17:06	こういったことで 16。
1:17:09	以上は、まずそのところまで来てるということで記載をさせていただいてます。
1:17:14	これも水平の断面図みますとちょうど O の集と青いところが出てきてるときに相 当しますので、こういったことで考えてございます。
1:17:25	はい、わかりました。ここはあの断層の評価に影響のマイクで
1:17:33	まとめ資料作るまでという形で整理するのかつてのは整備していただければ。
1:17:39	そう。
1:17:54	よろしく。
1:17:58	企業、
1:18:01	規制庁の神田です。
1:18:03	一応今日いただいた資料につきまして、こちらのほうから確認したい事項は今 までお話した通りです。
1:18:14	ですので
1:18:16	今日の指摘を踏まえてですね、資料構成の
1:18:21	また、変更とか、あと資料整えたりとか、作業はよろしくお願ひします。
1:18:29	よろしいでしょうか。
1:18:32	確認する。
1:18:34	今日で幾つかコメント。
1:18:37	とされましたけど、ちょっと位置付けとしましては
1:18:42	可能な範囲で直してもヒアリングこれでということですかね。終わリー応終了と いう理解でよろしいんです。
1:18:53	規制庁内部ですけども、おそらくそうなると思います。ただその会合にかけ る資料として土佐と載ってるかどうかかつてのは、1 回見せてもらった上で確認す

	る事項があるということになればヒアリングするかもしれませんが、きちっと入ってきている対話ヒアリングまして会合行けると。
1:19:12	ほぼ
1:19:13	痛いと思ってます。
1:19:17	そうしましたら資料を修正して面談を申し込めばよろしいのでしょうか。
1:19:25	年目んだという形になって資料化を提出でよろしいですかです。
1:19:31	はいだめでしたか面談になるのか、実態としてはまだから資料の提出をしっかりとってもらってという形で確認を取った上で、当サイト確認する必要があるか中で確率があるかとかお話ししたいと思います。で、あと、
1:19:47	これちょっと資料構成の資料と拡充するような設計と資料全体をもっとコンパクトにして欲しいと思っていて、今は敷地の断層との海洋定位置交通交通フルセットで書かれているか。
1:20:02	っていうますけれども、今日の説明もそうだと残ってコメントってdF系って、
1:20:11	dF系で1まとめしていいですか、こういうところしか残っていないので、
1:20:18	できれば1ポツの使うところはそのメリットを持って説明を使うも入れてもらって構わないと思うんですけども、CAPとかですなその辺の話では抜いちゃってもらったほうがコンパクトになるし、資料としてどこを受けましたのかっていうのをわかりやすいので。
1:20:35	そういった形でちょっと資料構成自体を考えてもらえればと思うんですけども、
1:20:48	これ、
1:20:50	バンですけども、CCF系Aは除いてもいいんですが、概ねタカオカって言われてないと思うんですけどその辺は、
1:21:02	大丈夫というかよろしいですか。
1:21:06	1の説明はしないけどのつけ等必要はないのかなという、僕がちょっと心配なんですか。
1:21:15	CCF決済後前のときに、だけどCCF参加は当だけ見ると待ってる確認しましたと言っていて、ただし等、
1:21:27	今、今後説明っていう後期更新世に表した変状の状況によっては戻って議論することもあるってことを申し添えますという話になっているので、最終的には丸とはしてないんだけど、実態上もあるという今出てるデータっていうのは、
1:21:43	止まっているということは確認しましたっていうだけになっています。ですのでその部分を再利用する必要ないと思っていて、そこに建物及び必要があるかどうかということについては、皆様今まで要件として系。

1:21:59	説明できるかどうかというところ。
1:22:02	セットデータがないと最終的な判断ができないというふうにしております。よろしいですか。
1:22:15	なんですけれども、今ナイトウさんの趣旨は理解いたしましたので、そういうことであれば、
1:22:22	除いてDF
1:22:25	ウに集約したような形でちょっとコンパクト化を図りたいと思います。
1:22:34	はい。
1:22:35	バンさんの心配を解消する方法としては市入れ等が敷地の断層として御説明CFDFKがシームがあつてというところの全体のコストを予定して
1:22:50	委員はcf3に切られてCCFさんが段丘面での何か整合面で水位変化当たっていないというところを、ほかに残しておいた上で、
1:23:05	CCFLの説明のポストってことでいいと思いますので、そういう形で、
1:23:13	何か資料全体を設置していただければと思うんですけど、よろしいですか。
1:23:27	9踏まえてちょっと工夫します。蓋開けはいい。
1:23:32	切断関係みたいなページを少し残し、
1:23:36	そんなにちょっと考えています。
1:23:39	はい、よろしく願いをします。
1:23:44	あんまり説明関係のやつがいっぱい入ってくると何でこんなついでしたつてつていう議論になっちゃうので、ちょっとそこをお願いします。
1:24:00	規制庁の海田です。
1:24:03	今のこちらから申し上げたことを踏まえて、今後資料の調整等よろしく願いしたいします。
1:24:13	そちらの方から何かもう日程もございましたら、
1:24:19	なければこれで資料としてつけた場合、
1:24:24	うん。
1:24:26	あれですかねし、我々の資料持って、
1:24:30	からになるかもしれませんが、
1:24:33	そこで等を一応審査会合にかけるというふうに
1:24:39	なった場合は先ほどちょっと話があつたえつとsf系の評価が今福祉ペンディングになってるので。
1:24:48	そちらのほうへ進めるように、
1:24:54	京阪の方にお話してもらえるような管理になるんでしょうかね。
1:25:00	ちょっとその辺の外進め方よくわからないんで。

1:25:05	独居いただければありがたいと思います。市長のナイトウですけれども、どういう順番でやるのかってということについてはBとも相談してありますが、これで判断してそちらのほうの碎石します。これをいつやるのかということについても他の案件もありますので、
1:25:23	最終的にいつごろできるのかってということについては、うちの中で検討した結果についてご連絡したいと。
1:25:35	バンですけれどもはい、了解いたしました。
1:25:41	それでは増、今日の議案は終了していきたいと思います。ありがとうございました。
1:25:49	ありがとうございます。